

くさび状欠損



歯の根元の部分がすり減り
くさび状にえぐれてしまうこと

それは歯の「くいしばり」。くいしばると、歯に大きな力がかかり、根元のあたりにその「ひずみ」が集中します。

こうした力が繰り返しかかることによって、歯の結晶にごく小さなキズが発生。そこを、ゴシゴシみがき過ぎると歯が削れてしまうのです。これにより**知覚過敏**の症状が表れます。

かみ合わせが悪く特定の歯に力がかかる人、スポーツ選手、寝ている時に歯ぎしりをする人などがこの状態になりやすいといわれます。こうした人は、**気付かずにいると歯がパッキリと割れる危険性もある**のです。

★くさび状欠損タイプの人への対処法★

- かみ合わせが悪い人は**・・・バランス良くかむよう気をつける。
食べる時以外に上下の歯を接触させない。
かみ合わせ治療を受ける。
- 歯ぎしりをする人は**・・・就寝時にマウスピースをする。
- 知覚過敏の症状のある人は**・・・しみ止めの薬を塗る

👉 治療方法



歯の色に似た詰め物（コンポジットレジン）をつめる。



神経の近くまで削れている場合は、神経を抜いて冠をかぶせる。

